

## 2020.09.20 「聖書預言・アップデート/どちら側につくか。」

<https://www.youtube.com/watch?v=DhG0jRFaYv4>

『どちら側につくか』さて、おはようございます。毎週の「聖書預言・アップデート」へようこそ。毎週日曜日の朝、「聖書預言・アップデート」を行います。そして、第二礼拝は、通常の「聖書の学び」です。ハワイ時間の午前11時15分からです。是非皆さん、ご参加下さることをお勧めしたいと思います。現在、第一テモテを学んでいます私たちは、章ごと節ごとに、第一テモテを進めています。今日は、本当に重要な事についてお話ししたいと思います。『今、本当に肝心なこと』世界で起きている全てのことを見ながら、人類史上の最後この瞬間、最後の時間を。私たちの人生で、何が本当に重要なのかを優先付ける為に大変必要性ある危機に関する事です。これはパウロが、第一テモテ4章でテモテへ書いている内容です。繰り返しますが、皆さんご参加されることをお勧めします。また、新しいウェブサイトを立てようとしているのをお知らせしたいと思います。私たちは、本当にワクワクしています。それは、『jdfarag.org』です。そのサイトで実際に皆さんがメールアドレスを入力下さる箇所をお知らせしたいので、その画面をお見せしますなぜこれを強調したかったかということ、多くの方が「登録してください」というメールを送ってくださったからです。皆さんご自身に、実際にサイトに行っていただく必要があるのです。YouTubeのこの動画の説明欄に新サイトのリンクがありますので、そのリンクをクリックすると、ページの下部に、メールアドレスを入力する欄が表示されます。登録希望のメールを送って下さっても登録されません。なので、出来るだけ早めに登録ください。お伝えした通り、繰り返しになりますが、これはかなり当たり前の結論ですが、ある時点でYouTubeが、私たちを検閲するか、私たちのチャンネルを打ち切るでしょう。私たちは、既にFacebookでいくつかの検閲をされました。確かに、私たちが取り組んでいるトピックを見ると、それは本当に時間の問題のように思えます。まだYouTubeをしているのは、本当に神の恵みによるものだと、私は信じています。そのことに関し、主を称賛します。本題に入るまえに、もう一つ。私たちは本当に、教会として、皆さんの私たちへの祈りを切望しています。具体的には、神が、私に牧師として特権をくださったこの貴重な教会を守ってくださるようになります。この教会を故郷と呼ぶ人のために、私たちのためにどうかお祈りください。神が、私たちを、そして私たちに与えてくださったものを祝福してくださるようになります。多くのものを与えられた人には、多くのものが要求され、私たちは、それをとても真剣に受け止めています。私たちはその点に関して、皆さんの祈りをお願いしたいと思います。心から感謝します。では、ここで深呼吸させてください。今日は、議論すること、そして自分と反対意見を持つ人に対抗することの危険性についてお話ししたいと思います。先週、祈りと断食の中で主を求めていました。議論、特にソーシャルメディア上でのクリスチャンの間での口論についてです。まあ、実際には、これはもっぱらソーシャルメディア上にだけあることですが。神は、本当に私を導き、私の心を落ち着かせてくださいました。そして今日、ただ私の心を皆さんに、分かち合いたいと思います。私は叫びません。今日とはにかく。私は、十分叫んできました。また泣かないように努めます。叫んだり泣いたりすると、人が気まずい思いをしたり、気分を害されたりするのは分かっています。このことに関し、主が助けてくださるようお願いしています。もし皆さんに、私は心を痛めていると告白しなければ、私は不正直で、さらに言えば不誠実ということになります。私の心は、本当に悲しんでいます。私は、息子たちが若くて、年齢が近くて、彼らがいつも争っていた時のことを考えます。それは、本当に私を傷つけ、私を引き裂きました。では、天の御父はどうでしょうか。彼の心がどのように傷つき、悲しんでおられるでしょうか。どうか知っておいてください。私は、私が同意できない人、あるいは私に同意できない人と、お互い同意できないことに関し、快く同意しているということ。そして、私たちがそうするのは、団結という目的のためです。手早く言わせていただきたいのは、これは、団結という旗印の下、偽りの教えや偽りの教師に同意してはいけません。私が言っているのは、救いに関する信仰の基本的なこと、また本質的なことにおいて、私たちは一致しているということです。今日のクリスチャンは、あ

らゆること、実際に救いとは何の関係もないものを巡って争っていることに、皆さん同意されると思います。例えば、来たる、アメリカ大統領選挙についてです。この捏造された COVID-19 のパンデミックについてです。繰り返しますが、私は、ウイルスがないと言っているわけではありません。私は、パンデミックがないと言っています。これはどうですか？ ブラック・ライブズ・マター。そして、これでも十分ではないかのように、もっと最近では、この後お話しするアブラハム協定についてです。どんなことでも、それについて争っている人がいます。思い違いしないでくださいそれはイエス・キリストの教会を分裂し、むさぼり食い、あろうことか、破壊しています。このように、サタンは自分のために、自分の代わりにクリスチャンに汚い仕事をさせているので、最高の気分でしょう。サタンは実際、新生した信者を使えるのだと言えどどうでしょうか。憑りつくのではありません。悪魔は、私たちに憑りつくことができないからです。しかし悪魔は私たちを抑圧することができます。サタンは、自分の仕事を成し遂げるためにクリスチャンを利用することができるのです。第二テモテ 2 章。16 節と、23 節から 26 節を読みたいと思います。使徒パウロはこう書いています。お聞きください。

「**俗悪な無駄話を避けなさい。人々はそれによってますます不敬虔になり、**」 (第二テモテ 2:16)  
「**愚かで無知な議論は、それが争いのもとであることを知っているのですから、避けなさい。**」 (第二テモテ 2:23)

私はそれが大好きです。”愚かな” そう言っているのが大好きです。「箴言」皆さんお持ちの翻訳に寄りますが、「箴言」12 章 1 節。私は頻繁にそれを引用します。

「**訓戒を愛する人は知識を愛する。(訓戒を受けない人は教えられない。)叱責を憎む者は”愚か”だ。**」 (箴言 12 章 1 節)

聖書にそうあります。聖書的です。

「**愚かで無知な議論は避けなさい。**」 (第二テモテ 2:23)

なぜでしょうか。なぜなら、

「**あなたも知っているとおりに、そのような議論は争いのもとになります。**」

「**主のしもべが争ってはいけません。むしろ、すべての人に優しくし、**」 (第二テモテ 2:24)

「**教えることができ、(Able to Teach = Teachable = Teach Able) よく忍び(憤慨せず)、**」

「**反対する人たちを柔和に教え導きなさい。神は、彼らに悔い改めの心を与えて、真理を悟らせてくださるかもしれません。**」 (第二テモテ 2:25)

「**悪魔に捕らえられて思いのままにされている人々でも、目を覚まして、その畏を逃れるかもしれません。**」 (第二テモテ 2:26)

彼の仕事、彼の目的は、クリスチャンとしてそれを実行する事。サタンの意志とは何でしょうか。ヨハネの福音書 10 章 10 節。イエスが私たちのために、これに答えてくださいます。

「**盗人(敵)が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかなりません。わたしが来たのは、羊たちがいのちを得るため、それも豊かに得るためです。**」 (ヨハネ 10:10)

興味深いですね。サタンの意志、彼の目的は、盗み、殺し、滅ぼす事です。そして彼は、このことにおいてある程度成功しています。彼は、教会の喜びを奪っています。

ネヘミヤ記 8 章 10 節のとおり、

「**主を喜ぶことは、あなたがたの力だからだ。**」 (ネヘミヤ記 8 章 10 節)

私たちの喜びを盗む中で、彼は、私たちの力も盗んでいます。彼は信頼性、誠実さ、証人を殺し続け、そして彼の最終的な目的、狙いは破壊することです。しかし、イエスは、「わたしが来たのは、羊たちがいのちを得るため、それも豊かに得るためです」と仰っています。これは典型的です。悪魔の脚本そのものです。あくまでも、悪というのは、E-V-I-L。反対から読めば、L-I-V-E。悪魔=D-E-V-I-L は、生きた=L-I-V-E-D の逆なのです。悪魔、ディアブロ、相反する者、逆。なぜ私はそれを指摘するのでしょうか？なぜなら、それは、後ろ向きだからです。そして、これが原因で全てが後ろ向きになってしまっているのです。私が、誰の側にいるかではありません。あるいは、どちら側に神がおられるのか

でもなく、むしろ、私たちが、神の側にいるのか？です。ヨシュア書5章をご覧ください。創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記、ヨシュア記、、、士師記は行きすぎです。13節から15節を読みたいと思います。

### ヨシュア書5章

13 ヨシュアがエリコにいたとき、目を上げて見ると、一人の人が抜き身の剣を手に持って 彼の前方に立っていた。ヨシュアは彼のところへ歩み寄って言った。

ところで、これは主です。あとでこの理由を説明します。

彼は主に言った。『あなたは私たちの味方ですか、それとも敵ですか。』

言い換えれば、あなたは私たちの側にいるのですか、それとも彼らの側なのですか？ 答えは、「彼は言った。『いや、...待ってください。何ですって？ それはイエスかノーかの質問ではありませんでした。どちらかという和多肢選択のような感じでした。私たちはどちらの側につくかを選んでいるのだから、あなたは彼らの側にいるのか、私たちの側にいるのか、どっちなのですか？ そして、主が基本的に仰るのは、「どちらでもない。」ヨシュアは、質問が間違っていて、質問が間違っているならば、間違った質問に対して、正解を提供することはできません。まずは質問を正しくしましょう。私が、誰の側にいるのか？ではないのです。では、彼の答えは何でしょうか。

14 彼は言った。『いや、わたしは 主の軍の将として、今、来たのだ。』ヨシュアは顔を地に付けて伏し拝み、彼に言った。『わが主は、何をこのしもべに告げられるのですか。』

これを覚えておいてください。後で戻ってきますから。だからこそ、それが主だとわかるのです。もし御使い（天使）であれば、御使いは決して礼拝を受け入れないからです。聖句にもありますね。これは主です。だから彼は、頭を下げて主を礼拝するのです。これは、キリスト・イエスの、ベツレヘム前の御姿です。それに気付いたヨシュアは、顔を伏せて倒れ込みます。そして、ただ主を礼拝します。そして彼は、こう言います。『わが主は、何をこのしもべに告げられるのですか。』それから、

「主の軍の将はヨシュアに言った。『あなたの足の履き物を脱げ。あなたの立っている所は聖なる場所である。』そこで、ヨシュアはそのようにした。」（ヨシュア記 5:13~15）

ヨシュアのように、私たち一人一人が 問いかけるべきなのです。『わが主は、何をこのしもべに告げられるのですか。』それが問題です。どういう意味でしょうか。問題は、私たちが 主の仰ることを聞いていないということです。むしろ私たちは、いわゆる預言の専門家の言うことを 聞いているのです。そして、これらのいわゆる専門家は、ちなみに、皆さんお気づきか分かりませんが、私は、いわゆる専門家と言われるのは嫌いです。しかし、いわゆる専門家達が 同じことを話してないなら、そうすると、私たちは混乱し、「誰が正しく、誰が間違っているのか」 知ることを切望します。つまりこうです。これは実際には良いことです。それは、敬虔でさえあります。その理由を説明します。これは、自分自身のために、自分で聖書を調べるといって、大変必要な効果があります。それが本当かどうかを確認することです。ベレヤ人がそうしたようにです。ベレヤ人は、「使徒の働き」にあるように、テサロニケ人よりも素直でした。（使徒の働き 17:11 参照）神が、ねたむ神であられるのは、私たちに、ではなく、私たちのためです。ちょっと先走ってしまいましたが、このメッセージにとどまらせてください。これが、自分のメモから離れたときに 気をつけている理由です。私たちが、自分で聖書を調べて初めて、私たちは、その問題に関して 主が何を語られているかに耳を傾けます。主がこの件に関して仰ることは、お互いに愛し合うことです。お互いに争ってはいけません。

### ヨハネの福音書13章34節から35節、

「わたしはあなたがたに新しい戒めを与えます。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」

そして、彼はこう仰います。

「互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。」

皆さん、サタンがこの節を知らないと思いますか？ 私の理解が正しいかどうか確認させてください。私たちの互いへの愛によって、人々が 私たちが彼の弟子であることを知ることになるなら、それは反対に言えば… つまり、私たちが悪口を言い、口論をして、喧嘩をして、破壊して、むさぼり食うことは… あ〜私は叫んでいます。不思議ではありません。当たり前です。世界は、私たちクリスチャンを見て、「あの人たちは本当にお互いを愛し合っている」と言われていた初代教会時代の人々と違い、代わりに、人々は私たちを見て、「あの人たちがお互い争う姿ときたら…」 と言うのです。「もう沢山だ。」と。

ガラテヤ 5 章 14 節〜15 節、

「法律全体は、『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』 という一つのことばで全うされるのです。

「気をつけなさい。互いに、かみつき合ったり、食い合ったりしているなら、互いの中で 滅ぼされてしまいます。」 (ガラテヤ 5:14-15)

第一コリント 1 章、10 節〜17 節を読みます。この一節と、続く 3 章にある一節は、こんにちの教会について書かれていると言えます。使徒パウロは 10 節でこう言います。

「さて、兄弟たち、（私たちの主イエス・キリストの名によって、）あなたがたにお願いします。私は、あなたに嘆願します。お願いだから。私たちの主イエス・キリストの名によって、あなたがたにお願いします。どうか皆が語ることを一つにして、仲間割れせず、同じ心、同じ考えで一致してください。」「私の兄弟たち。実は、あなたがたの間に争いがあると、クロエの家の者から知らされました。私は、クロエに拍手を送ります。これはソーシャルメディアのなかった時代です。クロエが言わなければ、パウロは、教会で実際に何が起きているのか、どうやって知るでしょうか。それでは、争いは何だったのでしょくか。何に関する議論があったのでしょくか。何の言い争いだったのでしょくか。12 節に答えがあります。

第一コリント 1 章

12 あなたがたはそれぞれ、『私はパウロにつく』『私はアポロに』『私はケファに』『私はキリストに』 と言っているとのことです。」

13 キリストが分割されたのですか。パウロがあなたのために 十字架につけられたのですか？あなたがたはパウロの名によって バプテスマを受けたのですか。

14 私は神に感謝しています。私はクリスポとガイオのほか、あなたがたのだれにも バプテスマを授けませんでした。

15 ですから、あなたがたが私の名によって バプテスマを受けたとは、だれも言えないのです。

誰が洗礼を私に授けたか知ってる？ 使徒パウロだ。まさか！！そうなんだ！

16 もっとも、ステファナの家の者たちにも バプテスマを授けましたが、そのほかには だれにも授けた覚えはありません。

17 キリストが私を遣わされたのは、バプテスマを授けるためではなく、福音を告げ知らせるためであり…

そして、彼はこう言います。

…しかも、キリストの十字架がむなしいものになっしまわぬように、言葉の知恵に頼らないで告げ知らせるためだからです。

言い換えれば、「福音を説くとき、私は自分の力の中で、自分の知恵で述べ伝えているのではありません。」「私は、言葉巧みにそうするのではありません。」「あなたがたに『うわー、なんて饒舌なんだろう』と 思わせるように雄弁に話すことはしません。」

第一コリント 3 章 1 節〜7 節。

1 兄弟たち。御霊に属する人に対するようには 語るができずに、肉に属する人、キリストにある幼子に対するように 語りました。

2 私はあなたがたには乳を飲ませ、固い食物を与えませんでした。あなたがたには、まだ無理だったからです。 実はいまでもまだ無理なのです。

「ヘブル人への手紙」の著者は、霊的未熟さについて語るとき、この箇所を繰り返しています。「あなたがたは、既に成長しているべきです。」「あなたがたは既に肉を食べているべきなのに、そうではありません。」「あなたがたは固い食物ではなく、乳が必要になっています。」（ヘブル 5:12 参照）  
「あなたがたは、まだまだ肉の人だ。」 彼がここで言っているのはそういう事です。

3 あなたがたは、まだ肉の人だからです。あなたがたの間には ねたみや争いがあるのですから、あなたがたは肉の人であり、ただの人として 歩んでいることにならないでしょうか。

4 ある人は『私はパウロにつく』と言い、別の人は『私はアポロに』と言っているのであれば、あなたがたは、ただの人ではありませんか。

5 アポロとは何なのでしょう。パウロとは何なのでしょう。あなたがたが 信じる為に使われた奉仕者であって、主がそれぞれに与えられたとおりのことを したのです。

6 私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。

7 ですから、大切なのは、植える者でも 水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神です。

私は、コリントが大変分裂していたと想像します。ある人が言っていたように、彼らは“人格カルト的メンタリティ”を持っていたからです。ですからこんにち、スーパースター的で セレブな牧師達や教師達が台座に乗っているのです。私たちが、彼らをそうさせたのでしょうか。そうです。私も人並みにやりがちです。そして、神は私に自覚させてくださいました。私は、大いなる祝福をその人たちを通して受け、私の人生に、神がその人を通して 語りかけてくださった方たちを、偶像化して台座に置く傾向があります。そして神はこんな感じです。「大きな間違いだ！」そして、神は私に何かを見せてくださり、その後、私は幻滅を感じ、迷いから覚めます。それから私は、彼らから目を離して、彼らを私が置いた台座から離し、自分の目を置くべきところ、主に目を向けます。そして、彼だけが私の人生で、その地位を占められるのです。私たちは、専門家や有名人、スーパースターを台座に置きます。「うわ〜彼らは有名だ！」と。「彼らのフォロワーの数知ってる？」と。私はそれが大嫌いです。申し訳ありませんが、大嫌いです。もちろん分かります。理解できます。そして感謝しています

「牧師JD! うわー! あなたは200,000人以上のフォロワーがいますね。」私がこう述べる時 主は、わたしの心を御存じです。私が、どれだけのフォロワーを持っているかではなく、イエスが、どれだけのフォロワーを 持っておられるかということです。使徒パウロはこのように言うでしょう

**「私がイエスに従うように、私に従いなさい。私がキリストに倣う者であるように、あなたがたも私に倣う者でありなさい。」（第一コリント 11:1）**

「しかし、イエスの代わりに 私に従わないでください。」 そうなった時、そしてそれは既に起こっていますが、必ず議論が起こります。その結果、「善意のドラゴン」からの 分裂と破壊を招くことになります。これは実際、私の書斎にある本の題名です。マーシャル・シェリーの著書です。こう書かれています。「教会の中で、『善意のドラゴン』は、誠実で善意の聖人であることが多い。しかし彼らは、弊害や緊張した人間関係、辛い感情を残す。彼らは自分自身を、難しい人間とは考えていない。彼らは、夜も眠らずに 意地悪な方法を考えているのではない。多くの場合、彼らは地域社会の柱であり、才能があり、強い個性を持ち、尊敬に値する存在だ。しかし、何らかの理由で、彼らはミニストリーを弱体化させる。生まれつき反抗的ではないし、病的でもない。彼らは忠実な教会員で、神に仕えていると確信している。しかし、彼らは善よりも害を与えることになる。」今から20年ほど前のことですが、それをよくまとめた描写を聞いたことがあります。皆さん、これと異なるバージョンを 聞かれたことがあるかもしれませんが、基本的には次のようになります。この間、橋を歩いて渡っていたら、今にも飛び降りようとしている男がいた。だから、警官が来るまで時間稼ぎしようと思った。

そして、私は言った。「飛び降りないでください!」「なぜですか。」と彼は答えた。「誰も私を愛していないのだから。」と。「神が、あなたを愛しておられます。」と私は言った。「あなたは神を信

じていますね？」「はい、私は神を信じています。」と彼は答えました。「良かった。あなたはクリスチャンですか、それともユダヤ人ですか？」「クリスチャンです。」彼は答えました。「私もです！」「プロテスタントですか？カトリックですか？」「プロテスタントです。」彼は答えました。「私もです！」「エピスコ派ですか、それともバプテスト派ですか？」「バプテスト派です。」彼は答えました。「うわ～私もです。」「神のバプテスト教会ですか、それとも主のバプテスト教会ですか？」「神のバプテスト教会です。」「うわ～私もです。」「元祖の神のバプテスト教会ですか、改革派の神のバプテスト教会ですか？」「改革派の神のバプテスト教会です。」「うわ～私もです。」

「1879年改革の、神のバプテスト教会ですか？それとも1915年改革の、神のバプテスト教会？」彼は答えた。「1915年改革の、神のバプテスト教会です。」私は、「異端だ！！」といい、彼を突き落とした。私たちは笑いますよね？これが事実ではないですか？これを言わせてください。「私を突き落とさないでください。」私は飛び降りませんが。しかし、アブラハム協定の意義を話しますので、私を突き落とさないでください。なぜそれが土地を分割するだけでなく、神殿の丘を分割するのか。そして最終的に、具体的で重要な聖書預言を成就します。私の話すことを最後までお聞きくださるなら、今、この和平合意から浮かび上がってきている詳細を持って、聖句にある聖書預言の点と点を繋げたいと思います。この署名されたアブラハム協定から始めましょう。平和宣言、協力関係、建設的な外交、そして友好関係。先週火曜日、9月15日にホワイトハウスが発表しました。引用します。「両当事者は、中東の平和と安全を推進するため、共通の公約について話し合った。各国家の主権（二国家間解決）を認識しながら、アブラハム協定のビジョンを抱き、平和の輪を広げることの重要性を強調した。平和と安全に暮らすため、また、イスラエルとパレスチナの紛争において、公正かつ包括的で永続的な解決を達成するための努力を継続。」これが全てです。二国家間解決です。また火曜日、ホワイトハウスは「アブラハム合意宣言」を発表しました。再度引用します。「我々は、中東と世界の平和、安全、繁栄のビジョンを追求する。」別の段落を引用します。「我々は、アブラハム三宗教と全人類の間で平和な文化を促進するため、一お聞きくださいー 宗教間・異文化間の対話を促進するための努力を推進する。」これ（アブラハム三宗教）は、イスラム教、ユダヤ教、そしてカトリックを指しています。真のキリスト教ではありません。先週の日曜日、アルジャジーラは興味深い記事を発表しました。「アラブ首長国連邦（UAE）とバーレーンのイスラエルとの協定は、聖地でのユダヤ人の祈りに扉を大きく開けた」ということについてです。米国が仲介したアラブ首長国連邦とバーレーンのイスラエルとの国交正常化協定に埋め込まれた声明。一注意してお聞きくださいーそれは現状に反しているのでアル・アクサの分裂につながるかもしれないとアナリストは言います。8月13日、ドナルド・トランプ米大統領が発表した米国、イスラエル、アラブ首長国連邦の共同声明によると、「平和のビジョンに定められているように、平和にやって来るイスラム教徒は、アル・アクサ・モスクを訪れて祈ることができる。そして、エルサレムの他の聖地は、すべての信仰の平和的な崇拝者のために開かれたままであるべきだ。」「この用語の選択は（引き続き引用中）無作為でもなく、失策でもない。」「これを、意図的な（隠された、秘密内の、巧みな、悪賢い）陰謀としてみるべきではない。」「これは、神殿の丘でのユダヤ人の祈りに対し、扉を大きく開けることでも、「それによって現状を劇的に変えるわけでもない。」同じ声明は、金曜日に発表されたバーレーンとの合意でも繰り返されました。（その後、記事は続きます。）「聖地（神殿丘を指しています）での、ユダヤ人の祈りを求める声もある。」「他方では、岩のドーム跡の上に第三神殿を建てることを目指している。」「これはメシア信仰によれば、メシア（救世主）の到来を告げるものである。」それは、私たちの救世主ではありません。彼はすでに来られたからです。これは、人々が自分たちの救世主として受け入れ、騙される反キリストです。偽の救世主です。活動家たちは、ユダヤ人の礼拝を許可し、イスラム教徒とユダヤ人の間で聖地を分割することは、主権を主張するための一歩となり、そして最終的に神殿を建てるという彼らの究極の目標を達成することになると信じています。これを見て下さい。分割は、世界の全宗教を統一するための触媒です。あなたはエルサレムを分割し、いわゆる「聖地」を分割し、そして神殿の丘を分割しています。まさに聖

書預言で語られている通り、世界の宗教を一つにするために分割しているのです。預言的に点と点を繋ぎましょう。第一1テサロニケ5章3節から始めたいと思います。よく知られているこの預言に、少し違ったアプローチを試みたいと思います。今や、毎週のようによく話し合っています。使徒パウロが書いています。

「人々が『平和だ、安全だ』と言っているとき、一これらの2語ですー 妊婦に産みの苦しみが臨むように、突然の破滅が彼らを襲います。それを逃れることは決してできません。」

ご辛抱ください。私たちは、”なぜ”という質問に答えるのが良いと思います。なぜ、人々が『平和だ、安全だ』と言っているとき突然の破滅が彼らを襲うのでしょうか。その背後にあるのは何なのでしょう。答えは、反キリストがどのようにして7年間の和平合意を確認するかについての聖書預言以外、右にできるものではありません。ダニエル9章27節です。これは、ゼカリヤ書12章1-3節にあるように、二国家解決策によってエルサレムを切断すること、そして、3.5年の中間時点での神殿の再建を含みます。

**「彼（反キリスト）は、神と呼ばれるすべてのものに反抗し、自らを高く上げます。ついには、神殿に座り込み、自分こそは神であると宣言するのです。」（第二テサロニケ 2:4 参照）**

それが起こるのです。そして、それが突然の破滅が襲い掛かる理由です。それでは、”どのようにして”という質問に答えてみましょう。これはどのようにして襲い掛かるのでしょうか。これはどのようにして起こるのでしょうか。ダニエル書8章24節～25節です。「彼（反キリスト）の力は強くなるが、自分の力によるのではない。」サタン自身に憑依されてしまうのです。これは、サタンの力です。「彼は、驚くべき（素晴らしい）破壊を行って成功し、…」それは一種のパラドックスです。驚くべき（素晴らしい）破壊って？「そして繁栄し、実践し、有力者と聖なる民を滅ぼす。」どのようにしてでしょうか？ 25節、

#### ダニエル書8章

**25 狡猾さによってその手で欺きを成し遂げ、（彼の政策によって、手中で技巧を駆使し 偽りを栄えさせようとする）（自ら）心は高ぶり、平気で（平然と平和によって）多くの人滅ぼし、**

これがその方法です。待ってください。何ですって？ では、この破滅が来る方法は、”平和によって”ですか？ そうです。平和によって、多くの人を破壊するのです。また、

**...君の君（イエス）に向かって立ち上がる。（敵対する）...私はここが大好きです。...しかし、人の手によらずに彼は砕かれる。（滅ぼされる）**

一瞬で。これは、忌まわしいことです。私は、他に何と書いていいかわかりません。アラブ首長国連邦とバーレーンとのこの和平合意は、忌まわしいものです。そして、この宣言は忌まわしいものです。全ての信仰？ 問題があります！ 私たちは、同じ神に祈っていません。アッラーは偽りの神です。イスラムは偽りの宗教です。モハメドは偽預言者です。世界宗教に参加して、みんなで祈るのですか？

「ヨハネの黙示録」で、これがまさに起こることだと語られています。そして、それは平和によって起こります。皆さん、何が悲しいかご存知ですか？ こんにちは、エレミヤの時代の預言者や祭司のように、「平和だ、平和だ！」と言う人がいます。しかし、平和はなく、破滅だけがあるでしょう。

#### エレミヤ書6章13節～14節。

**13 なぜなら、身分の低い者から高い者まで、みな利得を貪り、預言者から祭司に至るまで、みな偽りを行っているからだ。**

**14 彼らはわたしの民の傷をいいかげんに癒やし、平和がないのに、『平和だ、平和だ』と言っている。**

個人的に、今まで以上に確信しているのですが、今日私たちが見ていることは、まさに聖書預言が起こると語っていることです。それでも反論、批判する人がいるだろうと痛感しています。何年も前に、聞いた話を思い出します。ある父親と息子が、物資を得るためロバを連れて町に行きます。

この日、息子がロバに乗り、父親は歩いています。彼らが町に入ると、町の人々は彼らを批判し始めます。「あの若くて健康で強い男を見てごらんよ。「恥を知れ。自分がロバに乗り、父親を歩かせるなん

て！」彼らはこのことを聞いて、父親は、「息子よ。次に町に行く時は、私がロバに乗って、お前は歩くことにしよう。そして、彼らはそうやって、次に町に出向きます。もちろん、町の人々がいます。「みてみなよ。あの父親を。息子を奴隷扱いしている。」「自分がロバに乗って、息子を歩かせるなんて。恥を知れ。」父親は、「何という事だ。よし、こうしよう。」「二人とも、ロバに乗ればいいんだ。」そうして、彼らは町に向かいました。もれなく、、、「あの可哀そうなロバをみてみろよ。」「彼らはロバを殺そうとしている。二人でロバに乗るなんて。恥を知れ。」父親は、「なんとということだ！「わかった。我々がどうすればいいか。」「二人ともロバに乗らず、歩けばいいんだ！ そうだろう??」そして彼らは二人とも、ロバには乗らず、町に入ります。町の人たちは、もう大丈夫だと思いますか。そんなことはありません！皆さん、彼らが言ったことをご存知ですか？「あの愚かな親子をみてみろよ。」「彼らはロバを持ってっていうのに、乗らないんだぞ。」それがあなたなら、あなたには、批判的な精神があります。あなたには、理屈っぽい精神があるので、悔い改める必要があります。言うのはそこまでしておきます。...争うのが好きな人々がいます。彼らは争いを探していて、探さなくてもいいのです。争いの方から、彼らを見つけるでしょうから。特にこの時代は。前述の“同意しないことに、快く同意する”という選択を拒否している人にとって…ちなみにそうすることは、ある人が言うように、霊的成熟における最高の目標の一つですが、そうすることを拒否する人たちには？愛情を込めて、心のこもった正直な質問をしてもよろしいでしょうか？とても仮説的だとは思いますが、問題はこれです。もしオバマがこの全てをしていたとしたら、あなたはこの全てをどのように見るでしょうか。もしトランプじゃなかったら？繰り返しますが、仮定であることは分かっています。しかし、オバマがこの和平合意を思いついていたら？こんな風に言う強さをお許しいただきたいのですが、自分が選んだ人が選挙で当選することに望みを置くと、大きな間違いを犯します。嫌味と皮肉に聞こえるかもしれませんがそれは聖化された嫌味と、聖化された皮肉です。オバマが選ばれた時、神は爪を噛みながら、うろろ歩き回ってはおられませんでした。「箴言」21章1節にこうあります。

**「王の心は、主の手の中であって水の流れるよう。主はみこころのままに、その向きを変えられる。」**  
**(箴言) 21章1節)**

敢えて言いますが、神は、神がなさると仰った通り、すべてを向かわせておられます。それは神の御言葉通りなので、驚くべきことではありません。そして、神は常に最後の言葉（最終決定権）をお持ちです。預言の専門家にはありません。私に最終決定権はありません。神は、その御言葉の中に、最終決定権をお持ちです。それが神の御言葉で、御言葉の神です。こんな風に言わせてください。これは、世界の終わりです。では、素敵に午後を過ごしてください。「うわー、牧師先生、”終わりが近い”という看板を持って、街角に立つつもりですか？「いいえ。」看板には、「終わりはここにあります。」と書きます。繰り返しますが、私は、嫌味で言っているものではありません。そうかもしれません。分かりません。終わりは、ここにあります。アメリカンフットボールの例えを使います。ちなみに、私はフットボールには興味ありませんが。それは第4クォーターの終わりでもなければ、延長戦に入ったわけでもない。むしろ今は、サドンデスです。次のプレーが、最後のプレーになるかもしれない。そしてゲームオーバーです。それほど私たちは(終わりに)近いのです。これが、私たちが、毎週これを行う理由です。そして、それが、私たちが福音で締めくくる理由でもあります。イエス・キリストにある救いの良い知らせです。十字架上の「完了された」(キーワードです)御業。福音とは何でしょうか？それは、良い知らせです。つまり、イエス・キリストが来られて、あなたのために死なれたこと。そして彼は十字架につけられ、葬られ、3日目によみがえられました。そして彼は、再びまもなく戻って来られます。それが福音です。第一コリント15章1-4節、第一テサロニケ4章(携挙の文脈)。パウロが福音について述べるのは、テサロニケ人が初めてです。彼は後、コリント人にそれを語りますが、彼が書いた最初の手紙は、テサロニケ人宛でした。ここ数週間、私たちはオンラインメンバーから頂く証を共有しています。そして今日、さらに2つ共有したいと思います。最初のものは、ルイジアナ州のシェリル・ウッズさんからです。JD牧師、私は数年前からあなたの教えを見てきました。いつもあなた



の預言アップは、救いのABCをされる、最後の最後まで聞いています。私はいつも、神が誰かをキリストに導く特権を私に与えてくださるのかどうか疑問に思っていました。今夜、私の夫と私と、私の友人は、聖書預言と携挙について話していました。私たちがどれほど近いか話すと、私の21歳の息子が泣き始めました。彼は、何の話をしているのか、いろいろと質問をしました。私たちは、知っている最善の方法で説明しました。彼は、自分が天国に行くかどうか確信が持てていなかったのです。彼と「救いのABC」について話し合い、その時居た裏庭で、息子をキリストに導くと言う、母親として最も尊い特権を与えられました。祈りの間、私たちは皆、泣き出しました。息子は、私の前でひざまずき、私を抱きしめ、泣いていました。今夜は、神が与えてくださった最高の栄誉でした。神を褒め称えます。イエス様、ありがとうございます。JD牧師、救いのABCを忠実に教えてくださってありがとうございます。誰かをイエスに導くために、いつ神が、私たちを召してくださるのか、決して分かりません。今夜が、その夜になるとは想像もしませんでした。救いのABCをやめないでください。（私は止めるつもりはありません。）それは最高に重要なメッセージです。ありがとう、JD。」主を褒め称えます。次のは、本当はかなり面白いです。フロリダ州セブリングの兄弟からです。イエスの名前が全てだから、自分の名前は出さないでくれと仰る人です。いいですね。「私の兄弟、JD牧師にご挨拶します。私は、長年、あなたの預言アップによってとても祝福されています。時が迫っていることを知り、全信者は、自分ができることは何でも真剣に努力しなければなりません。失われた世界をイエス・キリスト、世の罪を取り去ってくださる神の小羊に導くために。差し支えなければいいのですが、27号線沿いに、救いのABCのデジタルビルボード（大きな広告板）を2台、1週間掲げることになりました。因みにこれが写真です。ハワイでこんな知らないですよ。私は、決して忘れませんが、2003年、妻と私が初めてここに引っ越したとき、「ビルボードがない！うわー。」人々が、ここをパラダイスと呼ぶのも不思議ではありません。

本土では、ビルボードが至るところにあります。郵便受けに行くと、そこにビルボードがあるんです。とにかく彼は、これらのビルボード、デジタル広告板を買ったんです。彼は、1つを「救いのABC」にして、もう1つのをすぐお見せします。彼はこう言います。「地域の人たちのために、もう一つは、預言アップにしました。彼らの中には、あなたのオンラインミニストーリーや聖書預言そのものについて全く知らない人がいるかもしれないので。」これが聖書預言のビルボードです。あの大きさを見て下さい！！ なんていうことでしょうか！！ その下に何があるかご存知ですか？ これらはRV、レクリエーション車両（キャンピングカー）と呼ばれるものです。もう一つ、ここにはないものですね。これらのトレーラーを本土から運んでくる俳優以外は、基本的に、車輪のついた家です。しかし、どれほど大きいをご覧ください。読んでみます。「世界がおかしくなっているように見えたり、狂ってきているように見えたりしていませんか？ それはそうだからです！ YouTubeで、JDファラグの聖書預言・アップデートを見てください。」なんていうことでしょうか！！ なんてクリエイティブなんでしょう？ 「人々は、本当に何がおこっているのか、真実を聞くことができるべきです。主流メディアを介して家庭に入ってくる嘘の番組ではなく。私が勝手にあなたのミニストーリーと福音のパートナーになることで、気分を害されないことを願います。（全くありませんよ！！）

あなたの「欺瞞と混乱の動画」は、（2〜3週間くらい前だと思います。）私が強調しているもので、近所の人や町の人に示したくなるものです。それが何かをありのままに教えてくださり、あなたを誇りに思います。邪悪な獣の顔をした、邪悪な嘘についてです。私たちの多くは、既にその事について知っていますが、多くの人にそれを宣言するためのプラットフォームを持っていません。」

**「多くを与えられた者はみな、多くを求められ、多くを任された者は、さらに多くを要求されます。」**  
(ルカ 12:48)

「だから、多くの人に真実を宣言することに関し、デジタル広告するアイデアは本当に影響を与えることができます。神にさらに多くの栄光をもたらし、そして魂をキリストに導きます。」そして彼は、可能な人は同じようにするよう勧めています。これは金銭的にかかなりの投資を要するので。「多くの迷

える人が不安や心配を抱え、どこに行けば役に立つ真実の情報が得られるのか わからずにいます。彼らの魂を救うことができる福音でさえです。人々は、自分たちがどれほど 騙されているのかさえ、理解していません。私はこれをするのに興奮していて、多くの人があるあなたのミニストリーを通して『道であり、真理であり、命である』 イエス・キリスト、それも十字架につけられたキリストを 見つけることを祈っています。(ヨハネ 14:6 参照) イエスの御名と栄光に。アーメン。母親違いのあなたの兄弟より。」神の祝福を。これ大好きです。凄いです！！ただただ、凄いです！！ では、「救いのABC」とは何でしょうか？ 皆さん、尋ねてくださりうれしいです。今日は少し違ったやり方をしたいです。皆さんのご忍耐に感謝します。もう数分頂戴したいと思います。私は、こんな風にABCに アプローチしたいと思います。これは一つの方法です。人々が救われるための一つの方法です。私は、それをそういう風に見たいのです。よろしいですか？ 救われる人が最初にするのは、自分自身の終わりに来ることです。そして、彼らは、自分が罪を犯したことを認識します。彼らは罪びとです。彼らは神の律法、神の完全な義の基準を 破ったことに気づき、認めます。そのために、今こそ救い主が必要だと気づきます。それがAです。ローマ人への手紙3章10節に、

「正しい者はいない。一人もいない。」(ローマ3:10)

ローマ人への手紙3章23節が理由を教えてください。

「人は皆(私たちの誰しもが)、罪を犯して 神の栄光を受けられなくなっていますが、」(ローマ3:23)

ローマ人への手紙6章23節に、

「罪が支払う報酬は死です。…」(ローマ6:23a)

それは死刑宣告です。しかし、ここに良い知らせがあります。神の賜物は、、、因みに、これが福音です。

「しかし、神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスによる永遠の命なのです。」(ローマ6:23b)

どのようにでしょうか？ なぜなら、イエスが来られ、死なれ、全てを支払われました。彼の流血で購入し、全額支払ったのです。「完了しました。」ピリオド(コンマではありません)そして良い知らせは、彼がそれを支払ってくださり、私たちに永遠の命という贈り物として 差し出してくださるので、それは贈り物です。私が支払ったなら、それは贈り物ではありません。それは購入したものです。彼が、購入されたのです。彼が、支払われたのです。それが良い知らせです。私が支払ったものではありません。贈り物です。私がするのは、それを受け取ることだけです。

B: あなたの心で、イエス・キリストが主であると 神がイエスを死からよみがえらせたことを、Believe/信じる。ローマ人への手紙10章9~10節、

「心で神がイエスを死者の中から 復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」(ローマ10:9)

そして最後にC。C: 主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。再度、ローマ人への手紙10章9~10節、

「口でイエスが主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から 復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」(ローマ10:9)

「実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです。」(ローマ10:10)

私は、「義とされる」(Justified)という言葉が大好きです。聞こえるままの意味を持つ言葉の一つだからです「全く罪を犯したことがないかのように」”Just if I'd never sinned.” (“Justified”と同じように聞こえると言う意味)もう一度やってみましょう。私は、義とされます。(Justified)私が全く罪を犯したことがないかのように。(Just if I'd never sinned.)イエスは、私の全ての罪を完全に支払ってくださいました。過去、現在、未来の全ての罪です。今もです。あなたが(早く終わらないかと)時計を見ている、神はあなたを許してくださいます冗談です。

しかし、彼は、私たちの罪を取り除かれます。

「たとえ、あなたがたの罪が緋色のように赤くても、雪のように白くなる。」（イザヤ 1:18）

「東と西が離れているように、罪と引き離し、もう思い出されません。」（詩篇 103:12 参照）

私が全く罪を犯したことがないかのようにです。「牧師先生、あなたは私が何をしたか ご存知ありません。」 「知りたくありません。」それは問題ではありません。なぜなら、イエス・キリストの血は、その恐ろしい罪の代償だからです。イエスが支払わなかった罪はありません唯一の罪、許されない罪は、イエス・キリストを拒絶する聖霊への冒瀆です。それが、許されない唯一の罪です。なぜならあなたは、罪の赦しと、罪の代価の支払いを受け入れないからです。最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節に こうあります。

『主の名を呼び求める者は誰でも救われる。』（ローマ 10:13）

それは本当にシンプルです。たぶん、あまりにもシンプル過ぎます。主の名を呼び求める者は誰でも？ そうです。私がしなければならぬことは 何もないということですか？ はい。私は何もする必要はないのですか？ はい。イエスが既にすべてなされました。それは完了したのです。私が持ってこれるものはないのですか？ ありません。では私はまず、自分の行動を改めてからにします。本当に？ それは、お風呂に入る前にシャワーを浴びるのと同じくらい滑稽です。そうではなく、彼があなたを綺麗にするのです。

### 第一ヨハネ 1 章

**9 もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。**

皆さん、ご起立ください。最後にこれを述べたいと思います。今日、この礼拝にお越しの方や オンラインでご覧になっている方のために、ただ言う以外に、これを伝える方法がわかりません。もし間違っている場合は、前もっていいですが、お許しください。これについては、第二礼拝で話すつもりですが、もう時間はありません。遊んでいる時間はもうありません。それが現実になってきています。イエスが来られます。イエス・キリストの教会携挙が差し迫っています。つまり、それが戸口まで来ています。それはいつでも起こり得ます。携挙が起こる前に、起こる必要があるものは何もありません。もういつでも起こり得るのです。主の御前で、空中で主に会い、まず第一に、それは..どんな言葉を使っても、それがどのようなものを表す言葉はありません。しかし、私は、彼に「よくやった、良い仕事をした、良い忠実なしもべだ。」と 言ってもらいたいのです。私は、彼が私に召されたことをしたからです。それは、警報を鳴らすことです。なぜなら、私が申し開きをするとき、牧師であり、教師である賜物をくださったからこそ、私は、もっと厳しく裁かれ、皆さん一人一人のために、弁明をするのです。皆さんの血の責任は、私にはありません。なぜなら、私は、皆さんに 神の全助言を伝えてきているからです。エゼキエル書にある、城壁の見張り人。彼は、何が起こるかを人々に警告しました。警告しなかった場合、つまり彼は何が起こるかを見ているのに、警告しないなら、彼らの血の責任が彼にあります。

**彼が、人々に警告し、人々が答えない場合は、彼らの血の責任が彼にはありません。（エゼキエル書 3:16-19 参照）**

露骨だと思いますが、多分そうである必要があります。皆さんに注意しておきます。時が迫っています。もう時間はありません。それは、”サドンデス”です。次のプレーが、最後のプレーになり、ゲームオーバーです。私はあなたに懇願します。今日が、救いの日です。永遠の命のために、人生で最も重要な決断を遅らせないでください。私は天国であなたに会いたいです。待ちきれません。

祈りましょう。お父様、どうもありがとうございます主よ、福音が、子供にでも分かるような シンプルさであることを感謝します。それは複雑ではありません。複雑にしてしまったことをお許しください。私たちが、ありのままの姿であなたのところに 来ようとする人の前に 妨げを置いてしまっていることをお許しください。主よ、あなたを呼びもとめたことのない方々が、口で告白し、心で信じ、罪の赦しのためにあなたに信頼を置くよう祈ります。今日、この日、まだ時間があるうちに。今日が、彼らの救

いの日になるよう祈ります。主よ、あなたの御言葉で、世界がどうなっているのかを教えてください感謝します。今日話したように、終わりの時にクリスチャンがどのような行動をするのか。周りを見渡してみると、明らかになってきています。まさにあなたが仰った通りで、それは一つの意味でしかありません。

ルカの福音書 21 章 28 節。

「これらのことが起こり始めたら、身を起こし、頭を上げなさい。あなたがたの贖いが近づいているからです。」

マラナタ。主イエスよ、早く来てください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7